

新・アメリカ留学日記 (1)

1 ヶ月後の留学出発に向けて

～ 1年後の自分 ～

早稲田大学理工学部 3年・University of Oregon への留学に向けて準備中

堀 真知子

いよいよ出発まで一ヶ月となったいま、私の心境の変化や準備の進行状況などを述べていこうと思います。

はじめまして。私は早大理工三年の堀真知子です。ここで簡単に自己紹介をさせていただきます。

学部では社会環境工学を専攻しています。理工学部内だけの授業が主でほとんど早稲田のイメージであるあの大隈講堂のあるキャンパスで授業を受けることはありませんでした。理工系なので今学期に実験などもあり、かなりの力作業のものもありました。

今現在、私は将来何になったらよいのか模索中です。そんな私がこのたび留学できることになったのでとても楽しみです。ここでは、理工学部生の私がなぜ留学するまでにいたったのかを述べていこうと思います。



松本先生のクラスにて：真剣なまなざしの受講生

からこそ、三年の後期の就職活動を前にもう一度立ち止まって将来のことを考えるべきなのではないかと思うようになりました。そこで私は留学を決意しました。

留学を通じて、周囲の人とは違う何かを得ようと思いました。周囲の人と違う何かとは具体的に三つあります。自分自身の英語力、積極性、広い視野の三つを手に入れることです。この三つを手に入れることで、一年後きっと違った考え

をもった自分がいるはずです。いつもこの三つを心にとめて生活したいと思います。以上留学理由をのべてきたので、次に留学準備の苦労について述べたいと思います。

1、私が留学したい理由

私が留学したいなと考え始めたのは高校生のときでした。それは英語が話せるようになるには、現地に行くのがよいと安易に考えていたからです。

そして大学生になり一年から二年になった頃から次第にいまの学生生活に疑問を抱くようになりました。理工系の科目ばかりを学び、他の学部生ともほとんど関わることなく四年間を過ごし、周囲の人間と同じように大学院に入って研究を続けるというのは、私が求めていることなのだろうかと考え始めました。

理工学部の授業自体がものたりないのではなく、私が入学当初思い描いていたものとカリキュラムがかなり異なっていたからです。学科自体また学部柄男子の割合が圧倒的に多いため、女子の位置づけは男子とは相当異なっています。だ

2、財政能力証明書

わたしが、この証明書を提出しなくてはならなかったとき私の家計はまさに最大の危機に追い込まれていました。しかし、この能力証明をださなければ、私の留学はなくなってしまうので、家族全員の預金を一つに集めてなんとか規定の額を集めることができました。

この証明書は英文でもらわなければならないので多少の時間を要すると銀行から伝えられました。そこでちょっとしたハプニングが起きました。英文で書かれた証明書を何気なく眺めてみると苗字が間違っていることに気が付きました。これでは正式な証明にならないので提出日当日に銀行へ駆け込みなんとか直してもらうことができました。英文で証明を書くこんな間違いさえも起こってしまうのだなと思いました。